

# 事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策Ⅱ-5-1  
道路網の整備と維持管理

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 道路維持課長 大賀隆宏 電話番号 0852-22-5187

事務事業の名称	道路維持修繕事業	
目的	(1) 対象	道路利用者
	(2) 意図	道路を安全で快適に利用できる状態に維持する
事業概要	道路を安全で快適に利用できる状態に保つため、 ・道路パトロールにより、変状等を早期に発見し適切な修繕を実施するとともに、 ・橋梁等の道路施設の老朽化対策や、 ・除草その他、交通機能を確保するための維持修繕を行う。	

## 2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	道路管理瑕疵による事故件数	目標値		22.0	22.0	22.0	22.0	件
	式・定義	当該年度中に発生した道路管理の瑕疵が認められる事故の総件数	取組目標値						
			実績値	25.0	24.0	25.0			
			達成率	-	91.0	86.4	-	-	%
2	指標名		目標値						
	式・定義		取組目標値						
			実績値						
			達成率	-	-	-	-	-	%

## 3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	5,622,313	6,543,023
うち一般財源 (千円)	3,462,002	3,453,035

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

## 5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

交通機能の確保に支障をきたす変状等を速やかに発見し対処するため、路線ごとに交通量に応じて週1~2回の頻度で道路パトロールを実施している。法で義務付けられた施設(橋梁、トンネル等)については近接目視点検を実施し、点検結果をもとに計画的に長寿命化を図る修繕工事を行っている。また、その他の道路施設(道路法面等)についても、点検マニュアル等を策定し、計画的に点検・修繕を行っている。

## 6. 成果があったこと(改善されたこと)

平成29年度の成果

- 道路施設の定期点検を促進した。
  - 道路橋 639橋
  - トンネル 72本
  - シェッド・シェルター 10基
  - 法面 535箇所
- 道路施設の老朽化対策を促進した。
  - 道路橋 37橋
  - トンネル 8本
  - シェッド・シェルター 5基
  - 法面 30箇所
  - 舗装 14km

## 7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

### ①困っている「状況」

①毎年道路管理瑕疵による事故が発生している。  
②道路施設を安全な状態で長く利用するために、限られた予算の中で効果的な老朽化対策を継続して行う必要がある。

### ②困っている状況が発生している「原因」

①突発的に発生する路上への落石等は道路パトロールでは早期発見が困難であり、発生から撤去等の対処までに時間がかかっている。  
②道路管理者として道路施設の健全度を的確に診断し、適切な時期に修繕を行う知識と経験が不足している。

### ③原因を解消するための「課題」

①タイムリーに道路の変状等の情報を得られるよう多くの道路利用者の協力が必要。  
②効率的な老朽化対策を行うためには、的確な健全度の診断や、対策時期、対策工法を判断するための、データの蓄積と活用ができるよう、職員の技術力向上に継続して取り組むことが必要。

## 8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

①従来から取り組んでいる「道と川の相談ダイヤル」の周知に加え、「パトレボしまね」を活用し道路の変状をタイムリーに得られるよう住民の方々をはじめ道路利用者への協力要請を継続して行う。  
②道路施設の老朽化対策については、専門家から助言を得る体制を活用し、的確な診断に基づく効果的な修繕を行いながら、点検等のデータの蓄積や活用方法を身に付けてゆく。